

NEWS RELEASE

梓設計の国内全拠点施設の事業活動における カーボンニュートラルを達成

株式会社梓設計（本社:東京都大田区、代表取締役社長:有吉 匡、以下「梓設計」）は、このたび2022年度の梓設計国内全拠点の事業活動におけるカーボンニュートラルを達成いたしました。今後もさらなる企業活動内のあらゆる面でCO2排出量の見直し・削減を図ってまいります。当社のカーボンニュートラルを目指した取り組みは以下をご参照ください。



2021年1月

「AZSゼロカーボンプログラム」始動
(LCCO2 算出プログラムの開発)

2021年11月

梓設計「気候非常事態宣言」を表明
(2023年6月でのカーボンニュートラル達成目標を宣言)



梓設計本社でのAZSゼロカーボンアクションの取り組み
(AZS-Cafe 再生紙カップ変更 / マイボトル推奨、専有部トイレのペーパータオル廃止、全席ゴミ箱をエリアゴミ箱へ集約)により、CO2排出量の削減と併せて社員のSDGsの意識向上を図る。

2022年2月

拠点施設の省エネ化（空調クラウド制御、照明制御など）開始
⇒拠点でのエネルギー使用量のほか企業活動に伴う
CO2排出量の算出、見える化を行う

2023年7月

梓設計国内全拠点で使用した電力量（年間約1,000,000kWh）に相当する、太陽光発電由来の「FIT非化石証書」により、電力の再エネ100%切り替え達成

2023年10月

梓設計国内全拠点で使用した電力量を除いた事業活動（年間約5,000t-CO2）に相当する、風力発電由来の「ボランティアクレジット」により、カーボンニュートラル達成